
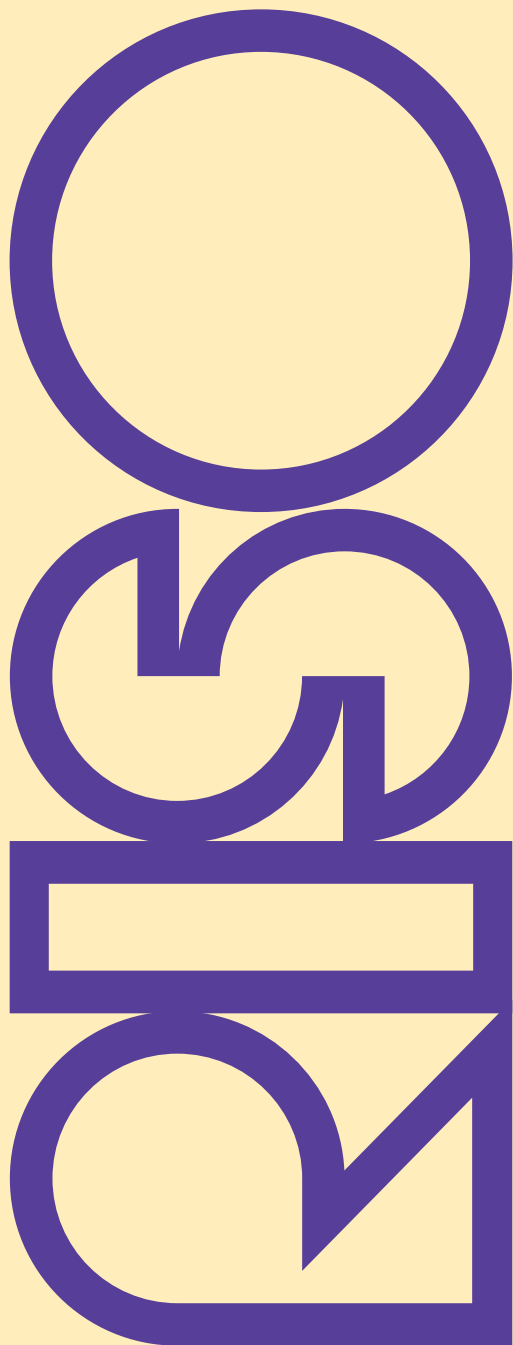


平成16年3月期 中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日

 理想科学工業株式会社



RISO
INTERIM
REPORT

株主・投資家の皆様へ



株主・投資家の皆様には、日頃からご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社平成16年3月期中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社では、開発・生産・販売をはじめとする企業活動全般の改革を進めるために、3年前に中期経営計画「NEW RISO 21」を立案し、5つの基本方針に則した企業運営を進めてまいりました。最終年度にあたる当期は引き続き基本方針の実行に努めますが、特に「販売力の強化」を重点方針として全力を傾注しております。

当社は本年7月に家庭用印刷機の新製品「プリントゴッコjet V-10」を、そして10月にはビジネス用高速フルカラープリンター「ORPHIS HC5000」を発表いたしました。どちらも新しいプリントコミュニケーションのありかたをご提案する商品として、今後拡販に努める所存です。

株主・投資家の皆様には、今後ともいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

代表取締役社長
羽山 明

中期経営計画 NEW RISO 21

当社グループでは現在、中期経営計画「NEW RISO 21」を推進しています。高収益企業として揺るぎない基盤を確立するために、以下の5つの基本方針に沿って各部門でさまざまなアクションプランを実践しています。

1. 開発・製造部門の効率化とコストダウンの徹底

- コンカレントエンジニアリングを基本に、効率化とコスト削減を図る。
- 海外生産の強化、グローバル調達を通じて効果的な製造コストの削減に努める。

2. 内外営業の収益安定強化

- 販売スキルとソリューション営業の企画力を向上・充実させ、総合的な販売力を強化する。
- 地域・市場に密着したマーケティングを実行し、国内・海外のコア市場における競争力を高めるとともに、販売チャネルの拡大を図る。

3. 新規商品開発およびサービス事業開発の推進

- 孔版テクノロジーを深掘りしコアビジネスを強化、付加価値の高い商品開発を促進する。
- 従来 of 事業領域にとらわれない自由な発想で、新ビジネスの創出を推進する。

4. 海外生産の積極展開

- 海外生産体制を強化し、総体的なコスト削減に取り組む。

5. 無駄のない筋肉質の企業体質への転換

- 自律した組織運営への転換を推進し、社員のコスト意識を高めるとともに、より積極的な事業への取り組みを促す。

新世代のビジネスプリンター 「ORPHIS HC5000」新発売

当社は、オリンパス株式会社と高速フルカラープリンター「ORPHIS HC5000」(オルフィス エイチ シーゴセン)を共同開発し、本年12月から新発売します。

「ORPHIS HC5000」は、毎分105枚*1のスピードでインクジェット方式による4色フルカラー印刷を行います。印刷できる用紙はハガキサイズからA3判ワイドまで。本体に用紙の反転機構を装備しているため、1回の紙通しで両面印刷ができます。ランニングコストは、1枚当たり2.5円*2と、標準的なカラープリンターの約3分の1～10分の1という低コストを実現しています。



ORPHIS HC5000

ドキュメントのカラー化ニーズは高まる傾向にありますが、一方で「まとまった量のカラー印刷は高コストで時間もかかる」といった認識が一般的です。当社が新たに提案するフルカラープリントソリューション「ComuColor.™」(コミュカラー)は、多枚数のカラー印刷領域で高速性・経済性・利便性を徹底追求し、カラー印刷をより身近にする提案を行うものです。当社は、「ORPHIS HC5000」を新たな市場を切り

拓く新世代のビジネスプリンターとして拡販してまいります。

*1：A4判横送り、標準設定連続印刷時

*2：A4判各色5% (シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック)、
解像度標準設定時、用紙別別

「ISO9001:2000」認証を取得

本年9月、当社は品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001:2000」の認証を取得しました。対象となる適用範囲は、「デジタル印刷機およびそのオプションの設計、開発、製造、レンタル、販売および保守サービス」です。

ISO9000シリーズの2000年版は品質マネジメントシステムを製造現場のみの課題としてとらえるのではなく、設計・開発から販売・サービスまでを一貫した全社的な課題としてとらえるところに大きな特長があります。当社は今回の認証取得を機に、従来にも増してより良質な製品、より良いサービスの提供に努めてまいります。



「ISO9001:2000」認証書

表参道と新大阪に当社ビルが竣工

本年7月に理想新大阪ビル、9月に理想表参道ビル/ONE表参道が竣工しました。

理想新大阪ビルは、JR新大阪駅から至近の好立地にある地下1階、地上8階のオフィスビルです。1階から3階には当社の大阪営業部、研修センター大阪分室などが入居し、関西地区の新たな拠点として販売・ユーザーサポート等の機能の拡充を図っていきます。また、その他のフロアはテナントへ賃貸します。

理想表参道ビル/ONE表参道は、表参道の入口に位置する地下2階、地上8階のビルで、世界的に著名な建築家・隈研吾氏が設計を担当しました。通りに面した開口部には木製のルーバーが配置され、緑豊かな表参道のケヤキ並木と調和した印象的な外観となっています。同ビルはルイ・ヴィトンジャパングループが店舗・オフィス等を含めて一棟使用します。9月には4つのブランド店舗がオープンし、表参道の新たなランドマークとして大きな賑わいを見せています。



理想表参道ビル/ONE表参道

「プリントゴッコjet V-10」新発売

理想科学と理想ベックは、家庭用印刷機の新製品「プリントゴッコjet V-10」を開発し、本年10月から発売しました。

「プリントゴッコjet V-10」は、インクジェット方式によるフルカラー印刷ができるコンパクトなプリンターです。本体にスキャナを搭載し、押し花や布といった厚みのある素材や写真などを原稿として読み取れ、パソコンを介さずにそのまま印刷できます。また、カメラ付携帯電話やデジタルカメラで撮影した画像を、メモリーカード経由でプリントできます。レイアウトは8種類、ハガキのほか16面付けのシール印刷も手軽にできます。

「プリントゴッコjet V-10」は、手づくりの楽しさはそのままに、デジタル技術を積極的に取り入れたプリントゴッコです。当社は、本製品を“プリントゴッコ・ルネッサンス”の幕開けを飾る製品と位置付け、新たなコミュニケーションツールとして大きく育てていきます。



プリントゴッコjet V-10

経営実績—当中間期の概況

当社グループは、当中間期において中期経営計画を達成すべく様々な活動を行ってまいりました。

国内市場では、一体型同時2色印刷機「RISO V8000」と、ネットワーク環境下で1枚から多枚数領域までの低ランニングコスト印刷システムを構成する「RP- α シリーズ」の拡販に注力しました。また、高速プリントが可能なLBP「Prioa LP9500DN」を発売しました。

海外では、新興成長市場向け低価格印刷機のの新機種「RISO KS600」を発売。さらには「RISO V8000」を欧米市場に本格投入し、販売力強化に努めました。

以上のような活動の結果、ユーロ高の影響もあり当中間期の連結売上高は396億1千7百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

当中間期の販売実績を地域別に見ますと、国内では「RP- α シリーズ」や「RISO V8000」の拡販により、印刷機本体とサプライの販売が堅調に推移し、売上高は189億円（前年同期比3.2%増）となりました。

米州では、ドル安の影響を受け売上高は71億円（前年同期比2.7%減）となりましたが、直販部門の強化により、現地通貨ベースでは増収となっています。

欧州では、ユーロ高の追い風も受け、売上高は77億円（前年同期比12.1%増）となりました。しかしながら、CIS諸国や中近東諸国での販売が計画を下回り、現地通貨ベースでは減収となりました。

アジアでは、東南アジアにおいて中級機種やサプライの販売が好調に推移した反面、中国市場において低価格機種の構成比が増加し、売上高は57億円（前年同期比4.4%減）となりました。

また利益面では、海外生産の積極展開による原価低減や諸経費圧縮に努め、営業利益は32億7千9百万円（前年同期比11.0%増）となりました。一方営業外費用として、

オリンパス株式会社との合併会社の初期投資費用6億1千万円を計上しました結果、経常利益が22億5千4百万円（前年同期比18.0%減）、中間純利益が10億4千6百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

通期の見通し

当社グループは、販売力強化に重点を置いて業容拡大に努めてまいります。中長期的には、顧客指向に基づく開発力・企画力の強化を図り、企業体質の転換を推進する所存です。

国内では、印刷機本体とサプライの販売にも支えられ、売上は堅調に推移するものと予想されます。また、プリントゴッコの新製品「プリントゴッコjet V-10」、フルカラービジネスプリンター「ORPHIS HC5000」を新発売しました。しかし、これら新製品の今期業績への影響は軽微と考えております。

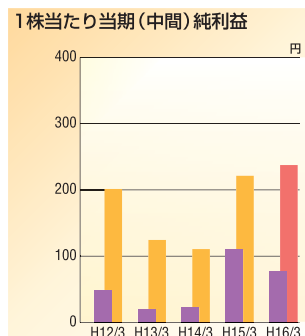
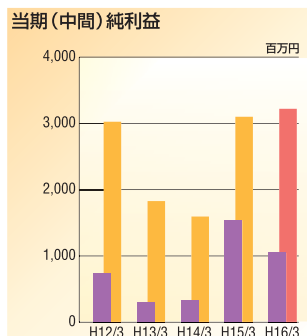
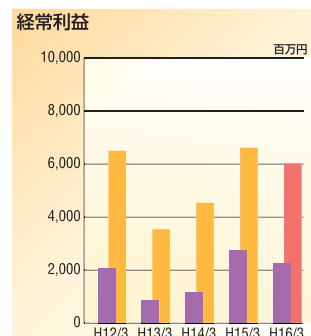
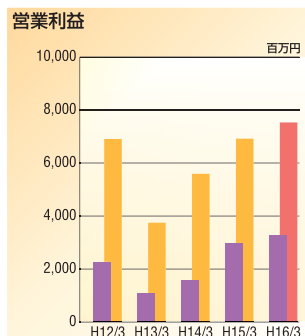
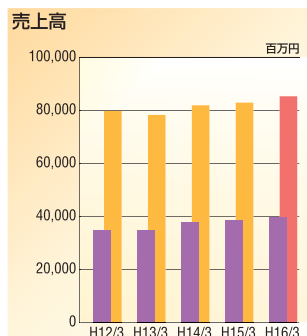
海外は、米国でのソリューションシステム等の展開活動による業績向上と、欧州の販売子会社の好調な業績が持続するものと予想しております。アジアでは印刷機本体の拡販による売上増加を想定しております。

経費面では、新規商品開発にともなう研究開発費や販売促進費等の先行投資費用の増加を見込んでおりますが、さらなるコストダウンや諸経費圧縮に努めてまいります。

通期の業績見通しは、売上高853億円（前期比3.5%増）、経常利益60億3千万円（前期比8.9%減）、当期純利益32億2千万円（前期比3.1%増）を予定しております。この結果、中期経営計画における経営指標の目標であるROE8%・売上高営業利益率10%はそれぞれ未達になる見込ですが、全社一丸となって目標達成に向け邁進する所存です。

なお、通期業績見通しにおける為替レートは、米ドル114円、ユーロ129円を前提としています。

業績ハイライト(連結)



凡例:

■ 中間期 ■ 通期 ■ 通期見込

		平成12年3月期		平成13年3月期		平成14年3月期		平成15年3月期		平成16年3月期	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期見込
売上高	(百万円)	34,889	79,771	34,842	78,264	37,631	81,906	38,641	82,414	39,617	85,300
営業利益	(百万円)	2,272	6,906	1,089	3,749	1,578	5,595	2,955	6,918	3,279	7,530
経常利益	(百万円)	2,081	6,507	861	3,543	1,167	4,538	2,750	6,619	2,254	6,030
当期(中間)純利益	(百万円)	740	3,025	299	1,828	330	1,595	1,539	3,124	1,046	3,220
1株当たり当期(中間)純利益	(円)	49.00	201.37	20.38	124.47	22.67	110.71	109.68	221.66	77.22	237.50

財務諸表の概要 (連結)

貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成15年9月30日	平成15年3月31日	
流動資産	62,827	68,052	
現金及び預金	31,895	35,051	
受取手形及び売掛金	14,381	16,822	
有価証券	999	300	
たな卸資産	11,599	12,096	
その他	4,828	4,697	
貸倒引当金	△877	△916	
固定資産	42,961	40,676	
有形固定資産	32,911	30,239	
建物及び構築物	9,154	5,703	
機械装置及び運搬具	1,855	1,858	
土地	14,899	14,898	
その他	7,002	7,779	
無形固定資産	1,837	1,894	
ソフトウェア	1,045	1,135	
その他	792	758	
投資その他の資産	8,212	8,543	
投資有価証券	3,083	2,517	
その他	5,413	6,299	
貸倒引当金	△283	△273	
資産合計	105,789	108,728	

(注) 有形固定資産の減価償却累計額34,834百万円

POINT 1

現金及び預金
建物及び構築物

新大阪と表参道に当社ビルを建設しました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

(負債の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成15年9月30日	平成15年3月31日	
流動負債	24,141	27,008	
支払手形及び買掛金	10,045	11,085	
短期借入金	7,448	7,997	
一年内返済予定の 長期借入金	64	63	
その他	6,583	7,861	
固定負債	20,147	20,674	
転換社債	16,915	17,084	
長期借入金	245	272	
その他	2,987	3,318	
負債合計	44,288	47,683	
少数株主持分	127	139	

(資本の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成15年9月30日	平成15年3月31日	
資本金	14,114	14,114	
資本剰余金	14,779	14,779	
利益剰余金	34,115	33,864	
その他有価証券評価差額金	519	△69	
為替換算調整勘定	△753	△381	
自己株式	△1,402	△1,402	
資本合計	61,373	60,905	
負債、少数株主持分及び資本合計	105,789	108,728	

POINT 2

支払手形及び買掛金

中国現地調達が進み、翌月現金
支払いが増加したため、支払手
形及び買掛金が減少しました。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期		前中間期	
	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日		
売上高	39,617	38,641		
売上原価	17,225	18,037		
売上総利益	22,391	20,603		
販売費及び一般管理費	19,112	17,648		
営業利益	3,279	2,955		
営業外収益	332	326		
営業外費用	1,356	531		
経常利益	2,254	2,750		
特別利益	—	—		
特別損失	—	—		
税金等調整前中間純利益	2,254	2,750		
法人税、住民税及び事業税	932	1,498		
法人税等調整額	276	△278		
少数株主損益	△1	△9		
中間純利益	1,046	1,539		

POINT 3

営業外費用

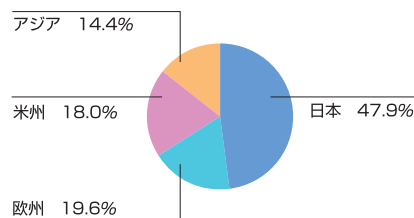
持分法による投資損失6億1千万円を計上しました。

■ キャッシュ・フロー計算書

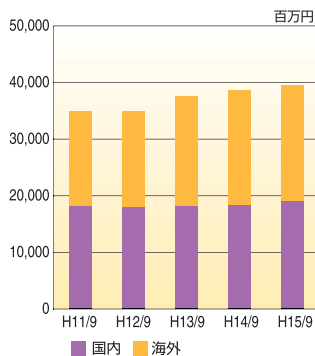
(単位：百万円)

科目	当中間期		前中間期	
	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日		
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,555	△580		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,540	3,501		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△947	△1,033		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△223	△176		
現金及び現金同等物の(減少額)増加額	△3,155	1,710		
現金及び現金同等物の期首残高	35,006	32,454		
現金及び現金同等物の中間期末残高	31,850	34,165		

地域別売上高比率(当中間期)



国内・海外売上高(中間期)



(単位：百万円)

	H11/9	H12/9	H13/9	H14/9	H15/9
売上高計	34,889	34,842	37,631	38,641	39,617
国内	18,243	18,000	18,132	18,399	18,995
海外	16,646	16,841	19,499	20,242	20,621

財務諸表の概要 (単独)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成15年9月30日	平成15年3月31日	
流動資産	48,417	53,061	
現金及び預金	27,248	31,911	
受取手形	953	1,214	
売掛金	10,269	12,678	
有価証券	999	300	
たな卸資産	5,379	5,111	
その他	3,593	1,876	
貸倒引当金	△26	△31	
固定資産	50,552	47,092	
有形固定資産	31,103	28,368	
建物及び構築物	9,096	5,656	
土地	14,899	14,898	
その他	7,107	7,814	
無形固定資産	1,061	1,151	
投資等	18,387	17,572	
投資有価証券	3,083	2,517	
子会社株式	7,655	6,413	
その他	7,839	8,828	
貸倒引当金	△190	△186	
資産合計	98,970	100,153	

(注) 有形固定資産の減価償却累計額32,526百万円

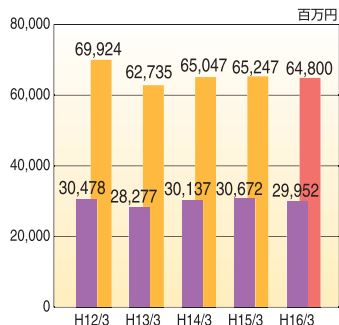
(負債の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成15年9月30日	平成15年3月31日	
流動負債	14,840	16,792	
支払手形	2,991	3,493	
買掛金	6,864	7,110	
一年内返済予定の 長期借入金	6	5	
その他	4,979	6,183	
固定負債	19,815	20,371	
転換社債	16,915	17,084	
長期借入金	132	126	
その他	2,768	3,161	
負債合計	34,656	37,164	

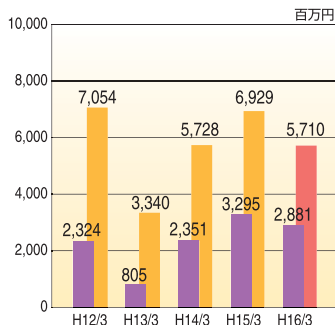
(資本の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成15年9月30日	平成15年3月31日	
資本金	14,114	14,114	
資本剰余金	14,779	14,779	
利益剰余金	36,302	35,567	
(うち中間(当期)純利益)	(1,531)	(3,070)	
その他有価証券評価差額金	519	△69	
自己株式	△1,402	△1,402	
資本合計	64,313	62,989	
負債及び資本合計	98,970	100,153	

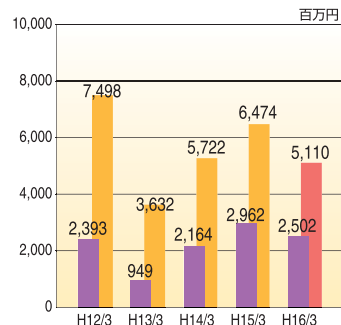
売上高



営業利益



経常利益

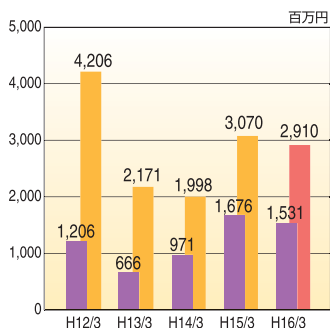


■ 損益計算書

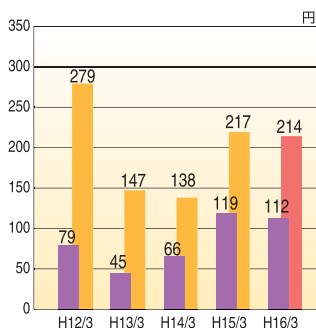
(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日
売上高	29,952	30,672
売上原価	15,305	16,468
売上総利益	14,646	14,203
販売費及び一般管理費	11,764	10,908
営業利益	2,881	3,295
営業外収益	200	194
営業外費用	579	527
経常利益	2,502	2,962
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税引前中間純利益	2,502	2,962
法人税、住民税及び事業税	796	1,427
法人税等調整額	174	△ 141
中間純利益	1,531	1,676
前期繰越利益	3,539	3,761
利益による自己株式消却額	—	—
中間未処分利益	5,071	5,438

当期(中間)純利益



1株当たり当期(中間)純利益



凡例: ■ 中間期
■ 通期
■ 通期見込

国内

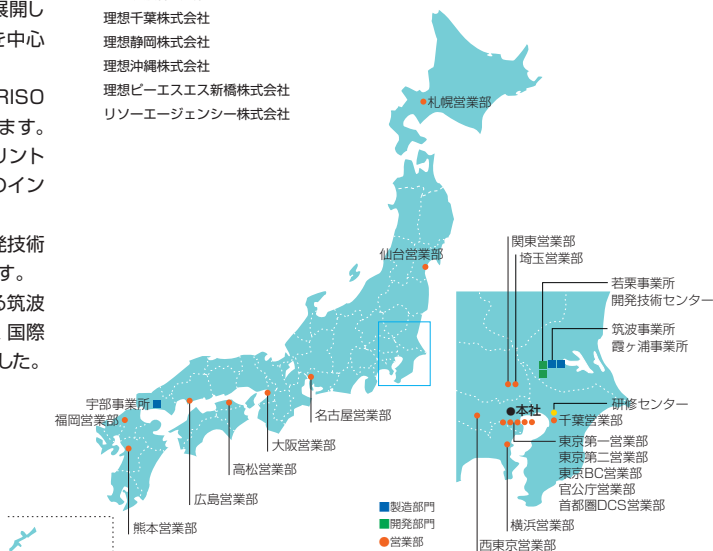
当社の販売ネットワークは18営業部41支店、および販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センター（千葉県）を中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場（茨城県）はRISOプリンター、リソグラフ全シリーズのハードを生産しています。霞ヶ浦工場（茨城県）はリソグラフのインク、マスターとプリントゴッコを生産しています。宇部工場（山口県）はリソグラフのインク、マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門は本社のほか、茨城県に若栗事業所と開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

開発技術センターと筑波工場・出荷センターで構成している筑波事業所は、平成12年12月に、宇部事業所は平成13年8月に、国際環境マネジメントシステム規格ISO 14001の認証を取得しました。

- ◆国内の主な子会社
- 株式会社理想ベック
 - 理想筑波株式会社
 - 理想千葉株式会社
 - 理想静岡株式会社
 - 理想沖縄株式会社
 - 理想ピーエスエス新橋株式会社
 - リソーエージェンシー株式会社



本社



若栗事業所



霞ヶ浦事業所



開発技術センター
平成12年、ISO14001認証取得



筑波事業所
平成12年、ISO14001認証取得
平成15年、ISO9001:2000認証取得



研修センター



宇部事業所
平成13年、ISO14001認証取得

海外

当社は16の海外子会社を中心に、リソグラフの販売やマーケティング、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。



●海外の主な子会社

RISO, INC.
RISO CANADA, INC.
The Corporation of RISO de Mexico, S.A. de C.V.
RISO EUROPE LTD.
RISO (U.K.) LTD.
RISO (Deutschland) GmbH
RISO POLAND Sp. z o.o.
RISO FRANCE S.A.
RISO IBERICA, S.A.
RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
RISO AFRICA (PTY) LTD.
RISO HONGKONG LTD.
RISO (Thailand) LTD.
RISO (SHANGHAI) INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.
RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.
RISO KOREA LTD.



RISO, INC.
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.
(イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.
(フランス・リヨン)

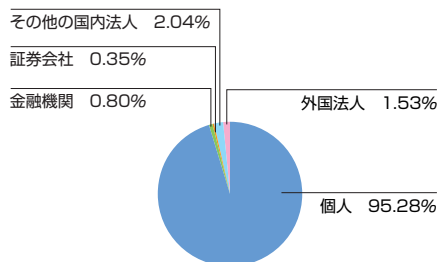


RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.
珠海工場 (中国・珠海)

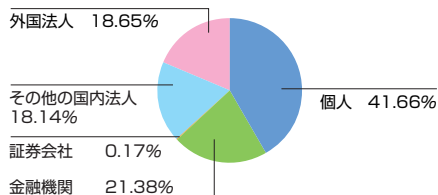
株式の状況 (平成15年9月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	33,920,000株 (前期末比増減なし)
■ 発行済株式総数	14,026,500株 (前期末比増減なし)
■ 株主数	3,137名 (平成15年3月末比265名減少)

■ 株主数比率



■ 株式数比率



■ 大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)		
サブアカウントアメリカンクライアント	1,432	10.21
有限会社理想社	1,235	8.80
羽山 昇	823	5.87
財団法人理想教育財団	665	4.74
日本トラスティ・サービス		
信託銀行株式会社	586	4.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	576	4.11
理想科学工業株式会社	468	3.34
理想科学工業従業員持株会	393	2.80
株式会社東京都民銀行	391	2.79
羽山 昭子	352	2.51

■ 自己株式の取得について

商法第210条の規定に基づき、平成15年6月27日開催の定時株主総会において、次期定時株主総会までに、当社普通株式30万株、取得価格の総額15億円を限度として自己株式を取得することについて承認可決されました。

◎平成15年9月30日までに自己株式の取得は実施しておりません。

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号
新橋駅前ビル1号館 (登記上)
- 連絡先 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号
田町センタービル
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,488,048円
- 従業員数 1,554名
- 連結子会社 27社(国内8社 海外19社)
- 役員
代表取締役社長 羽山 明
取締役副会長 柿澤 國男
専務取締役 野見山誠一
専務取締役 黒岩 経成
専務取締役 河合 伸雄
常務取締役 原田 種弐
取締役 酒井 純司
取締役 竹内 佳郎
取締役 高橋 靖宏
取締役 齋田 知男
取締役 波田 祥吾
取締役 尾形 純一
常勤監査役 吉原 和子
監査役 *村上 愛三
監査役 *鈴木 瀧夫

(注) *印は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

■株主インフォメーション■

商法改正により、本年4月1日から 株券失効制度が実施されました

株主様が所有の株券を紛失された場合、これまでは裁判所にて公示催告と除権判決というお手続きでしたが、今後は、当社の名義書換代理人である中央三井信託銀行に対して紛失株券を失効するための「株券喪失登録」を申請し、1年間異議申出が無ければ株券を再発行できることとなりました。詳しくは、中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

単元未満株式の買増制度を導入いたしました

当社定款規定の変更により「単元未満株式の買増制度」を導入いたしました。1単元(100株)に満たない株式を所有されている株主様で、買増しをご希望される方は中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。また、保管振替制度ご利用の株主様は、お取引のある証券会社へお問い合わせください。

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 03(3323)7111(代表)

◆今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
	そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日（中間配当をする場合）
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話(03)3323-7111(代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店
銘柄コード	6413
名義書換手数料	無料
新株券交付手数料	新株券1枚につき印紙税相当額（ただし、満欄による場合は無料）
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を決算公告に代えて、ホームページに掲載することといたしました。 当社のホームページアドレスは次のとおりです。 http://www.riso.co.jp/kessan/
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル 電話03(5441)6611

株式の諸手続きに関する情報が、フリーダイヤルやホームページから24時間入手できます

中央三井信託銀行では、株主の皆様への届出住所・印鑑・姓名等の変更届や配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義換請求書のご請求を、電話およびインターネットのホームページで24時間受付しております。ぜひご利用ください。

●電話でのご請求

受付フリーダイヤル：0120-87-2031

（操作の方法は、音声案内に従ってください）

●インターネットでのご請求

ホームページアドレス：

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

（一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます）

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル



本事業報告書は、環境にやさしい大豆インキと、再生紙を使用しております。